

1 題材 花や やさいを そだてよう

2 指導計画（12時間完了）

- (1) 苗を植えよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 野菜に名前を付けて手紙を書こう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (3) 野菜をお世話して、成長記録を書こう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間
- (4) 成長記録を発表しよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間（本時3／3）
- (5) 野菜を収穫しよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

3 本時の指導

(1) 目標

観察で見付けた野菜の成長の秘密を発表し合うことで、自分が育てた野菜と友達の育てた野菜の成長の違いに気付くことができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

〇〇はかせとして見付けた野菜の成長に関する秘密を、タブレットを用いて、書き込みをしながら、友達に分かりやすく伝えることができるようにする。

(3) 準備

教師：タブレット型PC、大型モニター、ワークシート、めあてを書いた掲示物

児童：ワークシート、秘密を書いた掲示物、野菜の鉢（6～8人に各1鉢ずつ）

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
3分	1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学習で、チームごとにそれぞれの野菜の秘密を探し、発表練習に取り組んできたことを思い出させる。 ○ 本時では、「〇〇はかせ」が見付けた秘密を学級のみんなに発表することを伝える。
ミニトマト、ピーマン、ナスの秘密を発表したり聞いたりして、野菜はかせになろう！		
25分	2 チームごとに見付けた野菜の秘密を、タブレット型PCを用いて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜ごとにチームを分け、「葉っぱはかせ」、「くきはかせ」、「花・実はかせ」の順に発表させる。 ○ 発表する際、口頭で説明する人と、タブレット型PCを用いて発表の補助を行う人に分けさせる。 ○ 児童がタブレット型PCを操作する際、教師が児童に操作の仕方を教えたり、補助したりする。 ○ チームの発表が終わるごとに、見付けた2つの秘密をまとめたものを掲示する。その際、他の友だちに一番伝えたい秘密である「おすすめのひみつ」を教師が尋ね、その秘密が書かれているところに星のマークを付けさせる。

<児童が発表する野菜の秘密>

	葉っぱ	くき	花・実
ミニトマト	①ギザギザ ②くきからたくさんで ている	①毛 ②たくさん枝分かれしている	①くきに近いほうから赤くな る ②小さい黄色い花・下向き
ピーマン	①少し丸い ②上はぼこぼこ	①たての線 ②緑・枝分かれする部分は紫	①実は緑色だけど花は白色 ②枯れた花びらが実について いる
ナス	①大きくて丸い ②つるつる	①小さい毛・ざらざら ②紫・根元は茶色	①花と実の色が一緒 ②花の中心はうすい黄色

7分	3 チームごとに発表された野菜の秘密を、実際の植木鉢に植えられたミニトマト、ピーマン、ナスと比較しながら確かめる。	○ 自分が気になった野菜の秘密を、実際の野菜の苗を見て確かめさせる。机の列ごとに教室後方にミニトマト、ピーマン、ナスの植木鉢を一鉢ずつ用意しておく。
7分	4 野菜の秘密について、一番驚いたことをワークシートにまとめ、発表する。	○ 本時の発表を通して知った、それぞれの野菜の様子や変化をワークシートに書かせる。その際、自分の育てた野菜と比較して、驚いたこと、新しく気付いたことなども書くように伝える。

評価事項

観察で見付けた野菜の成長の秘密を発表し合い、比べることで、他の野菜の成長の違いに気付くことができる。

【ワークシート・活動の様子】

□…タブレット型 PC を用いて発表した画像を見せたり、画像と実物の野菜を比較させたりすることで、野菜の様子や変化に気付かせる。

☆…自分が育てた野菜と、友だちが育てた他の野菜を実際に比較させ、違いに気付かせる。

3分	5 今後の活動への見通しをもつ。	○ 知った野菜の秘密を生かして、これからのお世話の方法を改善し、収穫につなげるように促す。
----	------------------	---

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動